

# コンセンサス・ デザイン・ フォーラム 2015

地方創生の本質を問う！

市民コンセンサスによる  
協働のまちづくり新時代

いま、市民自治の最先端の現場で  
何が起きているのか？

2015年 **1月14日** (水)  
13:30 ~ 17:00 (開場13:00)

日本財団ビル2階大会議室  
(東京都港区赤坂1-2-2)

定員150名(うち、50名を定員  
としてワークショップを開催)

無料

主催:三菱UFJリサーチ&コンサルティング コンセンサス・デザイン室

後援:日本財団、早稲田大学マニフェスト研究所

協力:牧之原市 市民ファシリテーター、茶ミット  
(社)サステナビリティ・ダイアログ

牧之原市  
男女協働サロン



氷見市

フューチャーセンター庁舎



松阪市

シンポジウム・システム



市民自治の  
最先端の現場を  
体感！

女川町

フューチャーセンター



さいたま市

学校複合化  
ワークショップ



呉高専

Co-baづくり



新地町

マイタウンマーケット



## プログラム

1. 開会
2. 挨拶・趣旨説明
3. 基調講演

「ダイアログと市民自治」(仮)

北川正恭氏(早稲田大学大学院教授)

4. 市民コンセンサス「ショーケース」(事例発表)

牧之原市	男女協働サロン	市民ファシリテーター(牧之原市)
氷見市	フューチャーセンター庁舎	谷内博史氏(氷見市市民参加と協働・防災のデザイン課副主幹)
女川町	フューチャーセンター	小松洋介氏(NPO法人アスヘノキボウ代表理事)
新地町	マイタウンマーケット	日下智子氏(マイタウンマーケット実行委員)
さいたま市	学校複合化ワークショップ	西尾真治(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)
呉高専	co-baづくり	高路地修平(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

<休憩>

5. パネルディスカッション

「地方創生の本質を問う！『市民コンセンサス』による協働のまちづくり新時代」

パネリスト **西原茂樹氏**(牧之原市長) **本川祐治郎氏**(氷見市長) **山中光茂氏**(松阪市長)

コメンテーター **北川正恭氏**      コーディネーター **西尾真治**

6. ワークショップ      ファシリテーション: 牧之原市 市民ファシリテーター

7. 閉会      三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社 取締役社長 藤井秀延

フォーラム全編にわたって  
ファシリテーション・グラフィックを  
行います。

【グラフィッカー】  
**牧原ゆりえ氏**、**谷内博史氏**  
(サステナビリティ・ダイアログ) (氷見市)

「市民コンセンサス」とは、人口減少社会に突入し、都市の消滅可能性も危惧される中、それぞれの地域が国に頼ることなく、知恵と工夫を凝らし、自己決定・自己責任でまちづくりを進めていくことが強く求められています。その主役は、行政ではなく、市民です。市民同士で対話し、合意(コンセンサス)を形成しながら地域の未来をかたちづいていくことがなければ、真にゆたかな地域は生まれません。私たちは、このように市民が主体的に合意形成をしながら地域のまちづくりを行うことを、「市民コンセンサス」と呼んでいます。

最先端の現場を知る「市民コンセンサス」はどこまで進み、最先端の現場では何が起きているのでしょうか。本フォーラムでは、全国の選りすぐりの先進事例のキーマンが勢ぞろいし、直接現場のご報告をいただきます。さらに、この分野で傑出した取組をして大きな注目を浴びている牧之原市、氷見市、松阪市の3市長によるパネルディスカッションによって議論を深めます。基調講演及びコメンテーターには、まちづくりにおける「ダイアログ(対話)」の重要性を早くから提起されてきた早稲田大学大学院の北川教授にご登壇いただきます。

本フォーラムの最大の特長は、フォーラムそのものをコンセンサス形成型で実施することです。牧之原市で行われている「男女協働サロン」を再現し、ワークショップ形式で行うディスカッションをプログラムに組み込んでいます。牧之原市の市民ファシリテーターがファシリテーションを行い、希望する来場者に参加していただいてディスカッションを行います。ぜひ、最先端の「市民コンセンサス」のまちづくりを、実際に体感していただきたいと思ひます。さらに、フォーラムと同時進行で、フォーラムの内容を次々のグラフィックで表現していく、ファシリテーターグラフィックのパフォーマンスも予定しております。

本フォーラムでは、当事者・現場からの学びと、来場者を含めたオープンなディスカッションを通じて、「市民コンセンサス」についての理解と議論を深め、協働のまちづくりにおける新たな価値、きっかけ、つながりを創出する場にしたいと考えています。この画期的なフォーラムに、ぜひ積極的にご参加をお待ちしております。

コンセンサス・デザイン室  
(三菱UFJリサーチ&コンサルティング)

従来型の合意形成は、結論ありきの運営や対立関係が解けないままでの妥協・意見調整による議論の決着が行われている場合が多い。

それに対して、ステークホルダー同士が前向きに未来志向で参画することにより、想定より高次の結論を導くことを「ポジティブ・コンセンサス」と呼ぶ。

コンセンサス・デザイン室では、「ポジティブ・コンセンサス」実現に向けて、新たな手法・ノウハウを実践・開発し、社会的なイノベーションを伴う新たな政策的立案・実施を推進している。

基調講演 「ダイアログと市民自治」(仮)



北川正恭氏  
(早稲田大学大学院教授)

1944年生まれ。1967年早稲田大学第一商学部卒業。1972年三重県議会議員当選(3期連続)、1983年衆議院議員当選(4期連続)。1995年、三重県知事当選(2期連続)。「生活者起点」を掲げ、ゼロベースで事業を評価し、改革を進める「事業評価システム」や情報公開を積極的に進め、地方分権の旗手として活動。達成目標、手段、財源を住民に約束する「マニフェスト」を提言。2期務め、2003年4月に退任。現在、早稲田大学政治経済学術院大学院政治学専攻公共経営専攻(公共経営大学院)教授、「新しい日本をつくる国民会議」(21世紀臨調)代表。平成21年地域主権戦略会議構成員

グラフィッカー

フォーラム全編にわたってファシリテーション・グラフィックを行います。



牧原ゆりえ氏  
(一般社団法人サステナビリティ・ダイアログ理事)

国際基督教大学卒業、監査法人勤務。スウェーデンに留学中に会った北欧発の参加型リーダーシップトレーニング等を軸に、サステナビリティ戦略フレームワークを伝える活動を展開。



谷内博史氏  
(氷見市企画振興部市民参加と協働・防災のデザイン課副主幹)

コミュニティ・シンクタンク、七尾市等での勤務を経て、2015年より氷見市で市民協働・ファシリテーション総括担当。庁内ファシリテーション研修や市民参加の場でファシリテーターを担う。

「市民コンセンサス」ショーケース(事例発表)

牧之原市(静岡県)  
男女協働サロン

牧之原市自治基本条例に位置づけられた、自由な立場でまちづくりに関する意見交換できる対話の場。「気軽に、楽しく、中身濃く」をモットーとしている。運営・進行は、市民の「まちづくり協働ファシリテーター」が行う。

スピーカー：市民ファシリテーター(牧之原市)

氷見市(富山県)  
フューチャーセンター庁舎

廃校となった高校の体育館・校舎をリノベーションして新庁舎として活用。その際、市民や職員とのワークショップを重ねて庁舎内のデザインを具体化。市民・地域との対話の場「地域協働スペース」を設け、ワークショップ等での活用を広げている。

スピーカー：谷内博史氏(氷見市)

女川町(宮城県)  
フューチャーセンター

民間・公共・社会の垣根を超えて活躍する「トライセクター・リーダー」を生み出すため、業界や立場や年齢など関係なく人が集い、町の将来について語り合う場の設置に向け、高校生ワークショップなどを進めている。

スピーカー：小松洋介氏(NPO法人アスヘノキボウ理事長)



小松洋介氏  
(NPO法人アスヘノキボウ理事長)

大学卒業後、リクルート入社。東日本大震災時にリクルートを退職し、被害の大きかった女川町へ入る。民間による復興計画作成、7社の起業支援、町内の人材育成、公民連携のまちづくりに携わる。

新地町(福島県)  
マイタウンマーケット

震災で町の約5分の1にあたる500世帯以上が被災した新地町で、新地町周辺のまちづくりや、仮設住宅で子どもと大人がつくる手づくりのまち「マイタウンマーケット」など、ワークショップを通じて復興計画や新しいまちづくりを考える中でコミュニケーションを深めていく活動を推進。

スピーカー：日下智子氏(マイタウンマーケット実行委員)



日下智子氏  
(マイタウンマーケット実行委員)

福島県新地町生まれ。工業高校卒業後上京、24歳でUターンし、㈱トーションの代表となる。震災後、地域コーディネーターとして活動。まちづくりNPOを設立し理事として活動する他、地域のイベントや社会貢献活動に参画。

パネルディスカッション 「地方創生の本質を問う！『市民コンセンサス』による協働のまちづくり新時代」



西原茂樹氏  
(牧之原市長)

金沢大学工学部卒業。相良町議会議員、静岡県議会議員を経て、2005年10月に初代牧之原市長に就任。「市民が主役」の理念に基づき、市民参加のワークショップによる「男女協働サロン」を推進。市民が「学び」「気づき」「共感し」「支援しあう」まちづくりに取り組む。「津波防災まちづくり」で第8回マニフェスト大賞(市民部門)グランプリ受賞。現在3期目。



本川祐治郎氏  
(氷見市長)

早稲田大学商学部卒業。衆議院議員秘書を務めた後、帰郷。商工会議所職員、家業経営、プロファシリテーターを経て、2013年4月、氷見市長に就任。フューチャーセンターを備えた学校体育館リノベーション庁舎を完成に導き、「市民と行政がともに政策を創る」市政運営を進め、第9回マニフェスト大賞(首長部門)優秀賞受賞。現在1期目。



山中光茂氏  
(松阪市長)

慶応義塾大学法学部卒、群馬大学医学部卒。松下政経塾に入塾中に、アフリカ諸国においてエイズ研究・調査を行う。帰国後、三重県議会議員などをを経て、2009年2月松阪市長に就任(全国最年少)。市が物事を決定する前に、意見聴取会等を開く「シンポジウム・システム」を行っている。第5回マニフェスト大賞(首長部門)グランプリ受賞。現在2期目。

ワークショップ 牧之原市 市民ファシリテーターのファシリテーションにより、「男女協働サロン」を再現します。

来場者の中で希望する50名が10テーブルに分かれて、ワークショップを行います。牧之原市で「まちづくり協働ファシリテーター」として活躍する市民に、ファシリテーターとして各テーブルに入ってもらい、「男女協働サロン」を再現します。本日のフォーラムにおける気づきを出し合い、議論を深めます。それぞれのテーブルの成果は、パネリストとやり取りを行うことを通じて、会場全体で共有していきます。

